

## 令和7年度第3回豊山町DX推進本部会議議事録

### 1 開催日時

令和8年1月28日（水）午前10時から午前11時まで

### 2 開催場所

豊山町役場3階 会議室5

### 3 出席者

- (1) 推進本部長 副町長 安藤敏毅  
推進副本部長 企画調整部長 早川憲二  
推進本部員 総務部長 林真吾  
生活福祉部長 日比野敏弥  
生活福祉部担当部長 井上武  
産業建設部長 中川徹  
教育委員会事務局長 小塚和宣  
議会事務局長 小川徹也
- (2) 事務局 デジタル化推進室 室長 井戸茂治  
グループ長 金田直也

### 4 議題

- (1) DXをめぐる主な動きについて
- (2) 来年度デジタル関連新規予算要求結果について
- (3) オンライン手続き・コンビニ交付案内一覧について
- (4) 豊山町情報安全対策指針の見直しについて

### 5 会議資料

- 資料1 DXをめぐる主な動き
- 資料2 来年度デジタル関連新規予算要求結果
- 資料3 オンライン手続き・コンビニ交付案内一覧について
- 資料4 豊山町情報安全対策指針の見直しについて

### 6 会議内容

事務局より、配付資料の確認が行われ、その後の進行は本部長へ引き継がれた。

議題1 DXをめぐる主な動き

事務局より説明。

質疑・意見

(本部員)

地方公共団体情報システム運用最適化支援事業費補助金は、豊山町は補助金対象となる見込みか。

(事務局)

標準システム移行前と移行後の経費を比較し、移行後の経費が高い自治体が対象となる。本町は移行後の経費の方が高くなる見込みのため、対象と思われる。

(本部員)

県がAI 統括責任者を設置するとのことですが、それを受けて本町は何か対応するか。

(事務局)

統括責任者に設置にあわせて県がガイドラインを改定すると聞いている。改定内容を確認し、本町のガイドラインの見直しの参考にする。

(本部員)

ホームページにオンライン（電子）申請ポータルを設置したとのことだが、周知をお願いする。

(事務局)

承知した。

## 議題2 来年度デジタル関連新規予算要求結果について

事務局より説明。

質疑・意見

(本部員)

公金収納のデジタル化で、行政情報システムにe L-Q Rを付与する費用は不要と聞いていたが、費用が発生するのか。

(事務局)

システムに付与する費用は不要だが、各科目に導入に係る作業費が必要であるため、予算計上している。

(本部員)

業務フロー作成システムを導入することで、業務改善にどうつなげていくのか。

(事務局)

現在、業務引継書の書き方は統一されておらず、人によりフォーマットや作業項目の粒度が異なっている。同じフォーマット、同じテンプレートにより現在の業務フローが可視化

されることで、グループ内や上司が業務を確認しやすい環境を整え、業務改善のきっかけとなることを目指している。

(本部員)

今回導入するシステムは来年度以降も毎年使い続ける想定か。

(事務局)

その想定だが、ライセンス数を調整するなどの整理により、利用料は少なくなる見込みである。

### 議題3 オンライン手続き・コンビニ交付案内一覧について

事務局より説明。

質疑・応答

(本部長)

マルチコピー機の導入を検討している。これにあわせてコンビニ交付できる手続の拡大を目指す。これらの取組は窓口開庁時間の短縮の検討にもつながる。広報4月号の折込案内では電子申請システムの使い方やコンビニ交付方法を二次元コードで案内するなどしてわかりやすい形で作成をお願いしたい。

(事務局)

承知した。

### 議題4 豊山町情報安全対策指針の見直しについて

事務局より説明。

質疑・応答

(本部長)

標的型攻撃メール訓練の開封状況は。

(事務局)

開封率はメールの内容により異なる。今年8月の訓練では県平均と比較すると開封率は低かった。

(本部長)

情報安全対策指針は国の作成したガイドラインに沿って見直しをしたという認識でよいのか。

(事務局)

お見込みのとおり。

(本部長)

事務局案で進めてよいか確認。

(事務局)

異議なし。

閉会

本部長より全議題終了の旨が述べられ、進行が事務局へ戻された。

事務局より、これをもって第3回DX推進本部会議を終了する旨が伝えられた。

以上